

4.廃棄物試験研究センター

平成 22 年度に行った非定期業務は、ごみ処理施設等からの依頼等による検査、行政からの依頼検査及びその他の調査である。検体数及び延べ項目数は表 1 のとおりである。

表 1 平成 22 年度 廃棄物関係試験検査数

区 分	検体数	延べ項目数
ごみ処理施設等からの依頼等		
清掃工場・資源化センター	298	1,825
埋立場	342	2,144
し尿中継所	42	315
行政からの依頼		
資源化に関する調査	18	321
その他の調査		
他都市集じん灰調査	90	990
合計	790	5,595

1)ごみ処理施設等からの依頼等検査

清掃工場、資源化センター、埋立場及びし尿中継所からの依頼等により、施設の運転管理等に関する試験検査を行った。

依頼等が多かった試験検査は、使用薬剤の適正注入量の検討や薬剤の選定に関する検査、大雨時の埋立場堤内貯留水の水質調査であった。

2)行政からの依頼検査

環境局家庭ごみ減量推進課及び各区生活環境課からの依頼により、資源化に関する試験検査を行った。

3)その他の調査

(1) 他都市集じん灰調査

本市埋立場に処分している本市清掃工場から発生した集じん灰の時間経過に伴う重金属の溶出挙動を比較調査するため、本市清掃工場集じん灰及び他都市清掃工場集じん灰の調査を実施した。